

(4) 記入例

1 幼稚園・保育所等から小学校(通常の学級)への就学する例	
1 現在行っている主な支援の内容 (幼稚園・保育所等 → 小学校・特別支援学校 (小学部))	>
(1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。	
○：配慮・支援の必要はない。	
○：何らかの配慮・支援があればできる。	
△：多くの配慮・支援を要する。	
(2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。	

項目	健康面に関する配慮	文職	主に幼稚園・保育所等で行ってきた配慮・支援
① 健康	◎	◎	◎ 特に入力なし。
② 見え		◎	
③ 聞こえ		◎	
④ 姿勢保持		◎	
⑤ 移動		◎	
⑥ 手指の動き		◎	
⑦ その他 ()		◎	
① 食事	○	○	① 偏食の傾向があり、食べることに集中できな いとところがあるが、教師が近く座り、言葉かけ すると落ち着いて食事に臨むことができ、若手 なものも少しずつ食べようとする。
② 排せつ	○	○	
③ 衣服の着脱	○	○	
④ 片付け	○	○	
⑤ 用具の使用・活用	○	○	⑥ 一日の流れや活動内容を絵カードで示し、説 明すること、活動の切り替えがスムーズにで きる。
⑥ その他(スケジュールの調整・環境)	○	○	
① 指示や話の内容理解	○	○	③⑦ 絵カード等で視覚的に相手の気持ちを伝え ると理解しやすい。また、教師が「お友達はど んな気持ちかな？」と言葉掛けすることで自分 で考えられるようになってきている。
② 意思の伝達	○	○	
③ 人とのかわり	○	○	
④ 遊び	○	○	
⑤ 集団行動	○	○	
⑥ 決まりの理解や遂行	○	○	⑥ 上履きで外に出るなど決められたことを守る ことができないとき、「×」を書いたカードを見 せると、行動を調整する様子が見られる。
⑦ 感情のコントロール	○	○	
⑧ 危険回避・危険予知	○	○	
⑨ その他 ()			
① 理解 (上下・誰・など)	○	○	① 「おはしを持つ手だよ」と言葉掛けすれば、 右手だということは理解できる。
② 文字への興味・関心	○	○	
③ 平仮名(自分の名前程度)の読み	◎	◎	② 当番活動の中で友達の名前を読む機会を作っ たり、郵便ごっこをしたりすることで、ずいぶ ん興味・関心が高まってきたようである。
④ 平仮名(自分の名前程度)の書き	△	△	
⑤ 数えることへの興味・関心	○	○	④ 書くことへの興味も出てきている。「名前はど うだっけ?」と教師に求めてくるので、「縦」「横」 など言葉掛けしながら教師が手を添えて書くよ うにしている。
⑥ 描くことへの興味・関心	○	○	
⑦ その他 ()			

項目	健康面に関する配慮	文職	主に幼稚園・保育所等で行ってきた配慮・支援
① 得意なこと 好きな遊び			・ 粘土や砂場遊び などイメージを形 にすること ・ 手伝いや当番活 動
② 興味			・ 教師も一緒に遊び、イメージを共有で きるようにした。 ・ 達成できたときは、特に多くの言葉を 掛け、褒めることを大切にした。
③ 関心			・ 鍵盤ハーモニカの練習等、長時間にな らないように○分程度と決めて取り組む 工夫をした。また、活動の前後に好きなこ とができる時間を十分とるようにした。
④ 苦手なこと 嫌いな活動			・ 鉄棒やプール ・ 集中して取り組 むこと

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫 (環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など)、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手立てや配慮事項など

・ 登園時に、一日の流れや活動内容を絵カードで具体的に伝えたり、片付けの時間などを事前に伝えたりすることで、活動の切り替えがスムーズにいく。
・ イライラして席に着けなかったり、声を出したりなど情緒的に不安定なときは、静かな場所に移動し、落ち着いて話を聞くようにした。本人の思いをしつかり受け止め、「○○が嫌だったんだね」と肯定的な言葉で話すように配慮する
・ 友達とのトラブルの際には、周囲の気持ちを代弁したり、言葉での伝え方を教えた
・ 友達とすする面を理解し手助けしてくれるように話をしたりすることで、周囲の受入にも変化がみられつつある。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など (保護者記入欄)

・ 早く新しい先生や友達に慣れて、みんなと一緒に楽しく過ごせるようになってほしい。
・ 連絡帳等を通して、家庭での様子を学校にできるだけ伝えたいと思っているので、学校での様子もぜひ教えてほしい。家庭でも励ましたり、同じような取組をしたりして一緒に取り組んでいきたい。

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成○○年 ○月 ○日

名前 (保護者) ○ ○ ○ ○

2 幼稚園・保育所等から特別支援学校（小学部）への就学する例

1 現在行っている主な支援の内容 〈幼稚園・保育所等 → 小学校特別支援学校（小学部）〉

- (1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。
- ◎：配慮・支援の必要はない。
○：何らかの配慮・支援があればできる。
△：多くの配慮・支援を要する。
- (2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項目	配慮	主に幼稚園・保育所等で行ってきた配慮・支援
健康・身体機能	① 健康面に関する配慮	△
	② 見え	◎
	③ 聞こえ	◎
	④ 姿勢保持	◎
	⑤ 移動	◎
	⑥ 手指の動き	○
	⑦ その他（ ）	
身辺処理・生活	① 食事	◎
	② 排せつ	○
	③ 衣服の着脱	△
	④ 片付け	○
	⑤ 用具の使用・活用	○
	⑥ その他（ ）	
社会性・行動	① 指示や話の内容理解	○
	② 意思の伝達	○
	③ 人とのかわり	○
	④ 遊び	○
	⑤ 集団行動	○
学習への準備	⑥ 決まりの理解や遂行	○
	⑦ 感情のコントロール	○
	⑧ 危険回避・危険予知	△
	⑨ その他（ ）	
	① 理解（上下・識・左・右など）	△
② 文字への興味・関心	○	
③ 平仮名（自分の名前程度）の読み	△	
④ 平仮名（自分の名前程度）の書き	△	
⑤ 数えることへの興味・関心	○	
⑥ 描くことへの興味・関心	○	
⑦ その他（ ）		

項目	目	主に幼稚園・保育所等で行ってきた配慮・支援
得意なこと 好きな遊び 興味・関心 等	絵本 ・ ブランコ ・ トランポリン ・ 散歩	・ 自分から好きな絵本を教師に持ってきて何度も読むように要求するので、じっくり読める時間をつくるようにした。
	苦手なこと 嫌いな活動 （のり付け、はさみの使用など）	・ 長時間、座って作業することは苦手であり、作業量を少なくしたり、できるときに十分ほめたりして活動に取り組みるようにした。

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や動き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手立てや配慮事項など

- ・ 着替えや排せつなど身辺生活については、家庭と連携しながら、一つ一つスモールステップを踏んで取り組んでいくことで、確実に自分でできることが増えてきた。これからも、できたことを十分に認めながら、細かな取組を続けていくことで成長が期待される。
- ・ 自分から教師にかかわりを求めてきたり、友達と一緒に遊ぶときにとっても楽しそうな様子を見せたりするようになった。本児の要求を、「ボールしたいね」など教師が短い言葉に置き換えたり、具体物を示したりして、確認しながらかわりをもち、コミュニケーションの力を育てるようにしてきた。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など（保護者記入欄）

- ・ 新しい環境に慣れるのに時間がかかるので、できることが少しずつ増えていくように先生方と一緒に取り組んでいきたい。
- ・ 言葉で自分の気持ちをうまく伝えられないことがあるので、表情やちよつとしたサインなどから読みとってあげること、周りの人とのかわりを広げていければと思う。

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成〇〇年 〇月 〇日

名前（保護者） 〇〇 〇〇

3 小学校（通常の学級）から中学校（通常の学級）へ就学する例

1 現在行っている主な支援の内容（小学校・特別支援学校（小学部）→ 中学校・特別支援学校（中学部））

- (1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。
 ○：配慮・支援の必要はない。
 ◎：何らかの配慮・支援があればできる。
 △：多くの配慮・支援を要する。
 (2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項目	健康	身体機能	学	習
① 健康面に関する配慮	○	◎	◎	◎
② 健康	◎	◎	◎	◎
③ 聴覚	◎	◎	◎	◎
④ 姿勢保持	◎	◎	◎	◎
⑤ 移動	◎	◎	◎	◎
⑥ 手指の動き	◎	◎	◎	◎
⑦ その他（ ）				
① 食事	◎	◎	◎	◎
② 排せつ	◎	◎	◎	◎
③ 衣服の着脱	◎	◎	◎	◎
④ 片付け	◎	◎	◎	◎
⑤ 用具の活用	◎	◎	◎	◎
⑥ 役割（手伝い、掃除など）	◎	◎	◎	◎
⑦ 金銭	◎	◎	◎	◎
⑧ その他（ ）				
① 指示や話の内容理解	◎	◎	◎	◎
② 意思の伝達	◎	◎	◎	◎
③ 集団行動・遊び	◎	◎	◎	◎
④ 決まりの理解や遂行	◎	◎	◎	◎
⑤ 人とのかわり	◎	◎	◎	◎
⑥ 感情のコントロール	◎	◎	◎	◎
⑦ 危険回避・危険予知	◎	◎	◎	◎
⑧ その他（ ）				
① 聞くこと	◎	◎	◎	◎
② 話すこと	◎	◎	◎	◎
③ 読むこと	◎	◎	◎	◎
④ 書くこと	◎	◎	◎	◎
⑤ 計算すること	◎	◎	◎	◎
⑥ 推論すること	◎	◎	◎	◎
⑦ 描くこと	◎	◎	◎	◎
⑧ その他（表現運動）	◎	◎	◎	◎

主：小学校で行ってきた配慮・支援
 ① 梅雨の時期や夏から秋の季節の変わり目に喘息の発作を起こすことがある。発作が起こったときは常備している携帯用の吸入器を使用し、家庭にすぐ連絡するようにしていた。

⑤ 手先が不器用で、学習用具をうまく使いこなせないことがある。定規はしっかりと押しやすえられるように幅の広い物を準備したり、コンパスを使うときにはノートの下に厚紙を敷いたりすることがある。掃除時間中にぼんやりしていることがある。掃除場所と作業の手順を示した表を掃除機の近くにはり、事前に確認するように言葉掛けをすると見通しをもって活動できる。

② みんなの前で話をするとき、前日に内容を考へ事前に練習することで、みんなの前で堂々と発表することができた。
 ⑤ 校外学習や施設訪問では、あいさつの仕方や正しい言葉の使い方について事前に練習しておくことができた。

③ 教科書を読むときは、補助シートを使い、読むうとする行だけを見えるようにすることで読みやすくなる。
 ※補助シート…厚紙に一行だけが見えるように切り込みを入れた物

⑥ 計算はできるが、文章題を苦手としている。問題を出して読んで読んで、図や絵を使い文章の意味を確認するようにした。

⑧ 運動会の表現の練習は、全体練習の前に事前に教師と2人で練習したり、練習の様子をビデオに撮り、家庭でも練習してもらったことで意欲をもって取り組むことができた。

項目	主：小学校で行ってきた配慮・支援
得意なこと 好きな活動	・ サッカーや野球などの球技 ・ 構想を立てる段階で、どんな作品にしたいかを一緒に考えたり、作品作りの手順をできるだけ細かく示したりした。
苦手なこと 嫌いな活動	・ 図画工作（特に絵をかくこと）
興味 関心等	

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手だてや配慮事項など

・ 話すことに苦手意識があり、自分から友達に話し掛けることは少ないが、体を動かすことが大好きなので、昼休み時間は、友達と一緒にドッジボールをしたり、ハンドベースボールをしたりして遊んでいる。これからも、得意なことを生かして友達の輪を広げてほしい。
 ・ 授業中、ぼんやりしていることがよくある。座席を前にして、集中できる環境をつくるようにした。また、指示が理解できていない場合もあるので、全体に指示を出した後、個別に分かりやすい言葉で話すように心掛けていた。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など（本人・保護者記入欄）

・ スポーツが好きで、サッカー部に入りたいたいという話をよくする。部活動を通してたくさんのかかわってほしい。
 ・ 学習に対する意欲が低く、家でも宿題に取り組むまでに時間がかかる。「できるようにになった」という喜びを味わえるように頑張ってもらいたい。
 ・ 基礎学力が身に付いていないようなので、下学年（〇年生）の内容を復習する時間があるなど意欲の向上にもつながると思う。

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成〇〇年 〇月 〇日

名前（本人・保護者） ○ ○ ○ ○

4 小学校（特別支援学級）から中学校（特別支援学級）へ就学する例

1 現在行っている主な支援の内容（小学校・特別支援学校（小学部）→中学校・特別支援学校（中学部））

(1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。

◎：配慮・支援の必要はない。

○：何らかの配慮・支援があればできる。

△：多くの配慮・支援を要する。

(2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項目	支援	主に小学校で行ってきた配慮・支援
健康・身体機能	① 健康面に関する配慮 ② 視覚 ③ 聴覚 ④ 姿勢保持 ⑤ 移動 ⑥ 手指の動き ⑦ その他（ ）	① 過度に疲れたときにてんかん発作を起こすことがあった。発作が起こったときは、口の中に何か入っていないかを確認し、服をゆるめ横にして治療まで待つ。通常30秒ぐらいいで回復していた。（慌てて救急車を呼ぶ必要はない。） ② 緊張するとトイレが近くなるので、校外学習や学校行事などでは、定期的に言葉掛けをしていた。 ③ 上着をハンガーに掛ける練習をしている。片方の肩の部分が落ちてしまいがちで、教師と一緒に確認するようにした。 ⑦ 硬貨や紙幣の種類は分別できるが、お金の計算が苦手である。買い物学習では、計算機が必要である。
身辺処理・生活	① 食事 ② 排せつ ③ 衣服の着脱 ④ 片付け ⑤ 用具の活用 ⑥ 役割(手伝い、掃除など) ⑦ 金銭 ⑧ その他（ ）	③ 休み時間には、一人で過ごすことが多いので、学級の仲間と興味のあるゲームを定期的にしている。また、交流学級でも「クラス全員で遊ぶ日」に参加できるように、内容を考慮してもらった。 ⑥⑧ 興味のあるものに集中して取り組むと、次の行動に切り替えるのに時間がかかる。次にすることを複数準備し、選択できるようにすると気持ちを切り替えられやすくなる。
社会性・行動	① 指示や話の内容理解 ② 意思の伝達 ③ 集団行動・遊び ④ 決まりの理解や遂行 ⑤ 人とのかわり ⑥ 感情のコントロール ⑦ 危険回避・危険予知 ⑧ その他（こたわり）	③④ 小学3年生程度の漢字の読み書きができるようになってきている。書き順が違ったり線が抜けたりすることがよくあるので、意欲が低下しない程度にさりげなく指摘していた。 ⑤ 繰り返しや繰り返し下がりのある計算が苦手である。計算をするときはブロックなどの具体物があること意欲的に取り組む。
学 習	① 聞くこと ② 話すこと ③ 読むこと ④ 書くこと ⑤ 計算すること ⑥ 推論すること ⑦ 描くこと ⑧ その他（ ）	① 帰宅後、本人からたたくさんの友達と遊んだという話を聞くと安心する。担任の先生や交流学級の先生が配慮してくださったおかげだと思おうので、中学校でも友達の関係づくりへの配慮をお願いしたい。 ② 中学校では、教科によって先生が替わるので、子どもにも苦手な部分を配慮していただきたきながら、多くのことを学んでほしい。 ③ 進路や社会自立に向けて、家庭でも計画的に考えていきたい。

項目	目	主に小学校で行ってきた配慮・支援
得意なこと 好きな活動 興味	・ アニメのキャラクターをかくこと	・ 製作活動では、仕上げにアニメのキャラクターをかき入れるように約束すると意欲をもって取り組む。
苦手なこと 嫌いな活動 関 心 等	・ 水に顔をつけること	・ 耳に水が入るのを怖がり、水泳の学習を嫌がっていた。耳栓を付けることで恐怖心が軽減され、学習に参加できた。

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこと、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手だてや配慮事項など

・ 穏やかな性格で、交流学級の子どもたちからもよく声をかけられる。昼休み時間等は、交流学級の担任にも意図的に言葉かけしてもらい、一緒に活動できるようにした。
・ 国語や算数の学習では、見通しをもてなければ取り組むまでに時間がかかると、解きやすい問題を準備したり課題が達成できたら大好きなパソコンで遊ぶという約束をしたりすると取り組みやすくなる。
・ いろいろなことにまじめに取り組みが、緊張が続くと突然泣き出すことがある。感情の変化に気付き、本人が落ち着く場所へ移動させるとよい。大好きなアニメの本や車の図鑑をしばらく見ると落ち着くことが多い。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など（本人・保護者記入欄）

・ 帰宅後、本人からたたくさんの友達と遊んだという話を聞くと安心する。担任の先生や交流学級の先生が配慮してくださったおかげだと思おうので、中学校でも友達の関係づくりへの配慮をお願いしたい。
・ 中学校では、教科によって先生が替わるので、子どもにも苦手な部分を配慮していただきたきながら、多くのことを学んでほしい。
・ 進路や社会自立に向けて、家庭でも計画的に考えていきたい。

このシートの内容を就学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成〇〇年 〇月 〇日

名前（本人・保護者） ○ ○ ○ ○

5 中学校（通常の学級）から高等学校へ進学する例

1 現在行っている主な支援の内容（中学校・特別支援学校（中学部）→高等学校・特別支援学校（高等部））

- (1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。
- ◎：配慮・支援の必要はない。
 - ：何らかの配慮・支援があればできる。
 - △：多くの配慮・支援を要する。
- (2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項目	支援	主に中学校で行ってきた配慮・支援
健康	◎	② 視力は左右共に0.1で眼鏡を使用している。
身体機能	○	② 席は最前列か教室中央列の前から2番目に固定した。プリント類は、必要に応じて拡大コピーして提示した。
① 食事	◎	④ 机の中やカバン棚が乱雑になりやすいので、教科ごとのファイルやブックエンドを使って区分けをした。
② 排せつ	◎	⑤ 協働動作が難しいので（特にリコーダー等）家庭と連携して練習を行ったり、課題を区切って取り組んだりするなど、スモールステップで指導した。
③ 衣服の着脱	◎	
④ 片付け	○	
⑤ 用具の活用	○	
⑥ 役割(手洗い、騒動など)	◎	
⑦ 金銭	◎	
⑧ その他()		
① 指示や話の内容理解	○	① 抽象的な言葉は伝わりにくいので、指示は具体的に言う。（「今日の授業で新しく習った5つの英語を5回ずつ書いておいて」等）
② 意思の伝達	○	⑥ 感情が高揚したり、予定外のことが起こりパニックになったりしたときは、列室にて呼吸を整えて落ち着かせ、ゆっくり話を聞く。
③ 集団行動・遊び	◎	また、トラブル時や困ったときの対応について「お助けノート」に記しておく。
④ 決まりの理解や遂行	○	① 集中して聞くことが苦手であり、一斉の指示を聞き漏らしやすいので、注意をそらさないように言葉掛けを多くする。
⑤ 人とのかかわり	○	
⑥ 感情のコントロール	○	
⑦ 危険回避・危険予知	◎	
⑧ その他()		
① 聞くこと	○	
② 話すこと	○	
③ 読むこと	◎	
④ 書くこと	○	
⑤ 計算すること	◎	② 内容を順序立てて話すことが苦手なので、5W1Hカードをしながら話す事柄や順序を示す。
⑥ 推論すること	○	
⑦ 描くこと	◎	
⑧ その他()		

項目	主	主に中学校で行ってきた配慮・支援
得意なこと 好きな活動	読書	・ 司書と連携しながら、好きな本について話題にしてコミュニケーションを深めたり、機会をとらえて本人の表現を高める場にした。たりした。
苦手なこと 嫌いな活動	手先を動かすこと 書くこと	・ リコーダーの練習では、小節を区切って取り組んだり、教師が、他の楽器の演奏で練習に加わったりなど、スモールステップで楽しみながら練習を行った。
興味・関心等		

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手だてや配慮事項など

- ・ 心優しく人なつこい。あいさつも積極的で、声をかけるとよく話をする。
- ・ 常識と思われようのないこと一つ一つに対して丁寧に説明すると理解できる。
- ・ 初めてのことや新出事項に対しては抵抗感を示し、なかなか取り組もうとしないので、サンプルを提示したり、最初の部分を一緒に行ったりして「できそうだし」という気持ちを本人に抱かせることが大切である。
- ・ 本人の問いや疑問に対して温かく接することで、学校生活における安心感と意欲を育てられるように努めた。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など（本人・保護者記入欄）

- ・ 全体への指示など理解できていない部分も多いので、具体的に指示してほしい。
- ・ 何かトラブルが起こったら、その時その場で解決・納得させたい。
- ・ たくさんの経験をさせてその中から一つ一つ学んでほしい。そして、そのことが本人の自信につながれば幸いです。

このシートの内容を進学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成〇〇年〇月〇日

名前（本人・保護者） ○ ○ ○ ○

6 中学校（特別支援学級）から特別支援学校（高等部）へ進学する例

1 現在行っている主な支援の内容（中学校・特別支援学校（中学部）→高等学校・特別支援学校（高等部））

- (1) 資料の観点例を参考に各項目について、支援度を記入してください。
 ◎：配慮・支援の必要はない。
 ○：何らかの配慮・支援があればできる。
 △：多くの配慮・支援を要する。
 (2) ○又は△の項目について、これまで行ってきた配慮や支援を具体的に記入してください。

項目	健康面に関する配慮	課題	主に中学校で行ってきた配慮・支援
健康	①	◎	② 斜視の手術を受けており、年1回定期健診を受ける。
身体機能	②	○	⑥ 指先の使い方がぎこちなく、ボタン掛け等に時を要する。玩具を使いボタン掛けやひもの結び方などを練習している。
	③	◎	⑦ ハンカチの携帯について家庭と連携して言葉掛けしている。洗濯の仕方を学習しながら衣類の清潔に留意できている。
身辺処理・生活	④	◎	③ ボタンの掛け違いやベルト扱いの困難があり、言葉かけを細かくしたり、鏡を見るように促した模様合わせを描いている。
	⑤	△	④ プリント類については、授業終了ごとにフアイルに綴じることが習慣化するよう言葉掛けした。
	⑥	○	⑦ おつりや換金について買い物の練習などを行っている。レジスターなどを用いて模擬的に買い物場面を設定するととても意欲的に取り組んだ。
	⑦	○	① 一日の流れを書き示しておくこと色手ヨークを使うと確認してくる。大切なことは色手ヨークを使うと興味を示す。
社会性・行動	⑧	○	③ 集団になると入れなくなることがあるが、中から誰かが声を掛けたり誘ってくれたりすると一緒に活動できる。
	①	○	② 時系列での説明は難しいので、いつ・どこなどを教師が質問しながら文を作っていく。
学	②	○	③④ 清音と濁音を取り違えることが多く、発音と書く文字が一致しない。また促音や拗音についての理解も難しいので、ひらがな・カタカナカードを使用して言葉の学習を行う。
習	③	○	⑤ プロック等の具体物を使用して1桁の加減法を行う。
	④	○	
	⑤	○	
	⑥	○	
	⑦	○	
	⑧	○	

項目	興味・関心等	主	主に中学校で行ってきた配慮・支援
得意なこと 好きな活動	・ 縄跳び	・ 体が動かしやすくて好きなので活動の場面を多くし、みんなのモデルになることで自信を付けた。	
苦手なこと 嫌いな活動	・ 整理整とん ・ 折り紙	・ 学級で定期的に整理整とんに取り組むことで、お互いに協力し助けた。	

2 就学先の学校に伝えたい支援内容

(1) 就学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

※ これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）、これまでの指導で伸びてきたこと、これからも伸ばしてほしいこと、そのための手だてや配慮事項など

・ 明るく風託がない。お手伝いが大好きで用事を頼むと喜んで引き受ける。係活動などで自分のやるべきことが分かっているとよく取り組む。人が好きで寄ってくると距離感の取り方などを継続して指導してきた。また好奇心も強く、周りの人の動きもよく見ている。本児の良い面に触れながら好意的に話し掛けると伝わる。
 ・ 話をするのは好きだが、一方的で会話の視点がずれるので教師が話の道筋をつくらるとよい。同じことを何度も繰り返すことも多いので、日程や行事等に関することであれば黒板に色チョークで書いておき、そちらに興味を向けさせる。

(2) 就学後の学校生活に関する要望・期待など（本人・保護者記入欄）

・ 元気で楽しく学校生活を送ってほしい。
 ・ 将来は自分の力で生活することができるよう、勉強もがんばってもらいたいし、何か技術を身に付けてもらいたい。

このシートの内容を進学先や関係する支援機関と共有することに同意します。

平成〇〇年〇月〇日

名前（本人・保護者） ○ ○ ○ ○